

令和7年度 学校評価報告

1 令和7年度の重点目標

①社会の変化に応じた教育活動の推進 ②多様な他者と関わる力の育成 ③社会で生きて働く資質・能力の確実な育成と進路実現に向けた支援の充実 ④安全・安心な居場所としての環境整備 ⑤教育の質を高め、学びを保障するための資質・能力の向上対策の研究・実施
--

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
管理運営	社会の変化に応じた教育活動を推進している。	B	・基礎学力の育成の取組や要配慮生徒への対応の取組を発展させていく。 ・保護者、中学校、地域に向けて本校の取り組みを適切に積極的に発信していく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	震災から15年が経過し、国からの交付金がこれまで以上に減ってくることはやむを得ないが、何とか知恵を絞って、生徒の良い成長に策を講じてほしい。				
学習指導	教育の質を高め、学びを保障するため、資質・能力の向上対策を研究・実施している。	B	・探究学習の指導について、これまでの成果を整理し、各年次生徒の支援体制を整える。 ・先進事例等の新手法について研修を深め、本校生徒に合う指導展開の開発を進める。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	探究への取組において様々な興味を持って生徒は取り組んでいた様子がうかがえた。さらに発展させていくために、成果の整理をし、指導計画を発展させてほしい。				
生徒指導	多様な他者と関わる力を育成している。	A	・特別活動等での場面設定等を工夫し、円滑な人間関係を構築する能力を育む。 ・本校独自の部活動の理念について理解を求め、生徒主体の活動を推進する。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	部活動の自発性を重視した位置づけやねらいは、生徒に経験を積ませる良いものと感じる。生徒も教員もできる範囲で適正な多くの部活動が行われることを望む。				
進路指導	社会で生きて働く資質・能力の確実な育成を行い、また、進路実現に向けた支援を充実させている。	A	・各年次での進路目標に向けた取組を年間を通じて集会やLHR等で充実させる。 ・就労移行支援機関との連携を深め、必要に応じた支援計画を作成し実行する。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	障害者手帳や療育手帳などを持つを各種の支援機関に繋げてくれる試みは、大変有難いことであるので、ぜひ継続してほしい。				
環境整備	安全・安心な居場所としての環境を整備している。	A	・来年度に実施される校舎中規模改修の機も活かし施設の安全維持・管理を図る。 ・生徒の学校生活支援の拡充を図るため、関係諸機関や団体との協働を進める。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	中規模改修が順調に実施され、これまで以上に学習環境の安全性が高まることを期待する。SC・SSWの役目は大きいので、配置の充実が維持されていくことを望む。				

3 次年度の課題と改善方策

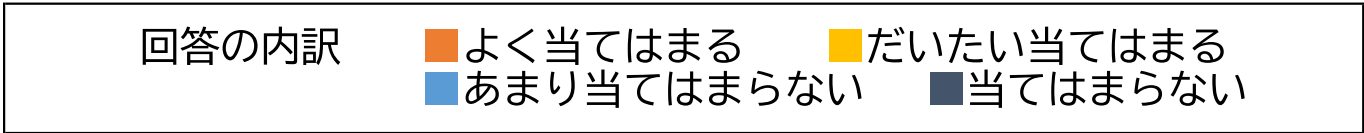
次年度の課題	改善方策
① 要配慮生徒への各種支援の充実	各種機関との連携をさらに図り、生活上の支援や学習活動での支援を充実させる。
② 探究的な学習と指導法の進化	指導法の研究により、個々の生徒の探究で能動的な学習活動を進化させる。
③ 諸活動への取組による経験の獲得	学習・行事・進路・校内外の諸活動への参加を促し、経験知の向上を図る。

令和7年度 学校評価アンケート 集計結果

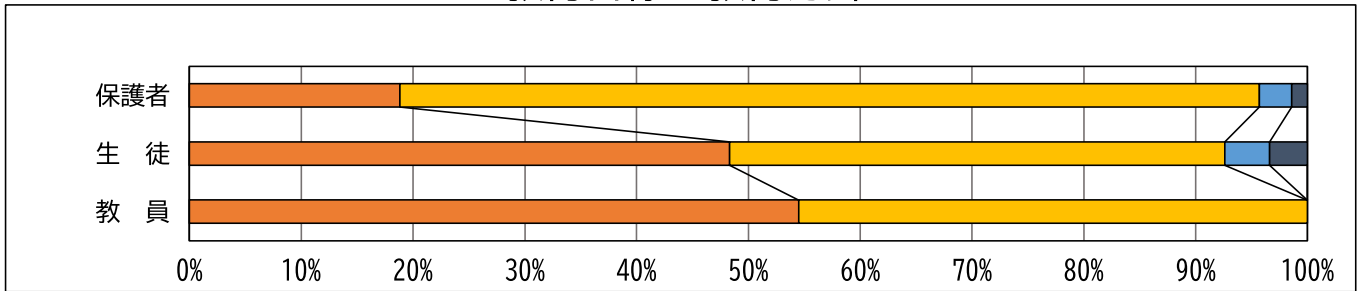
※ 質問項目のタイトルはまとめて表現しています。
 ※ 項目は、集計結果まとめの表の並びに準じています。

回答数

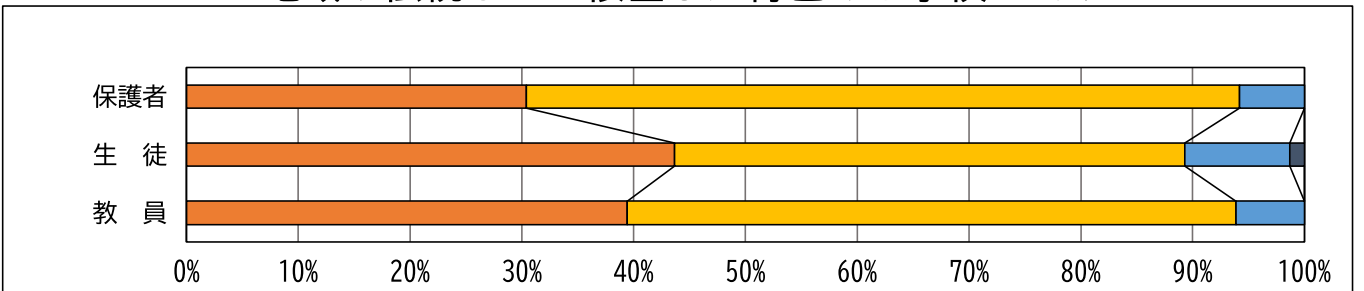
保護者 69 生徒 149 教員 33



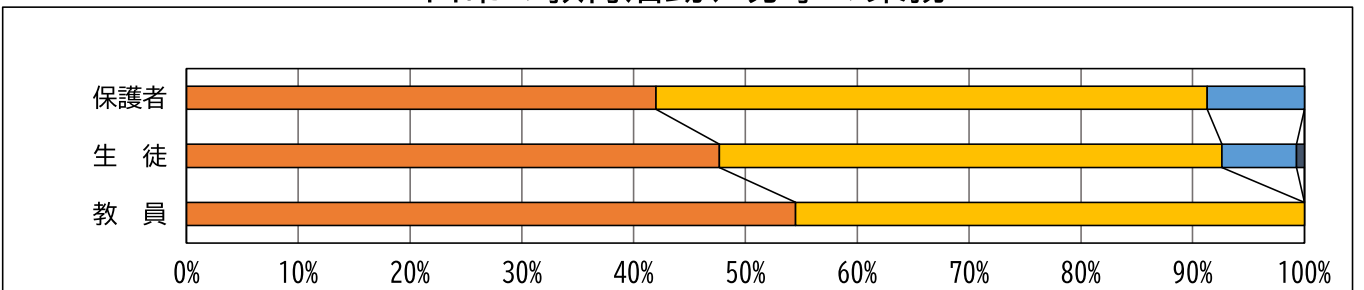
教育目標・教育方針



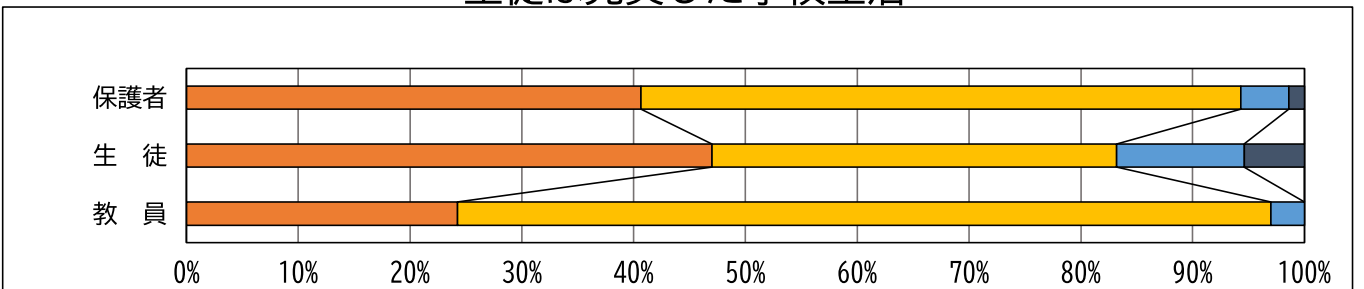
地域や伝統などに根差した特色ある学校づくり



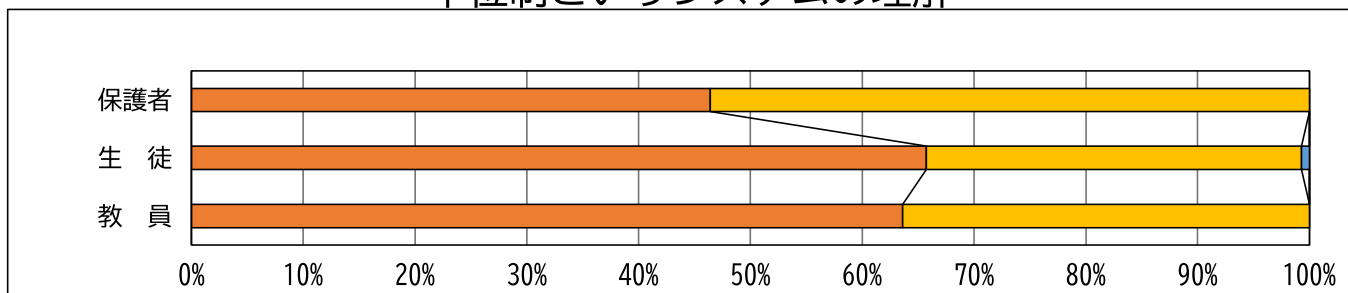
日常の教育活動、分掌の業務



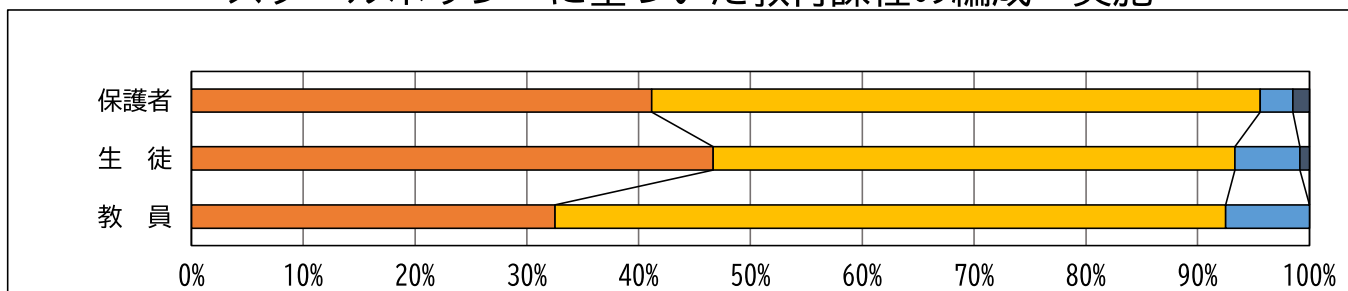
生徒は充実した学校生活



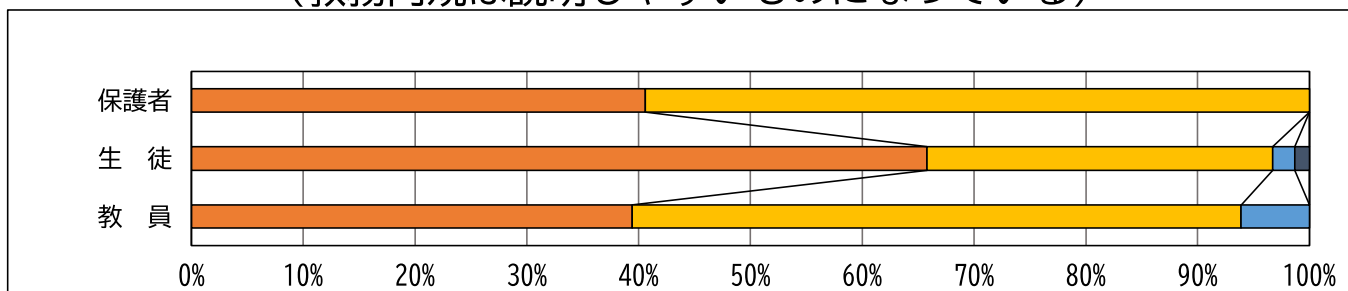
単位制というシステムの理解



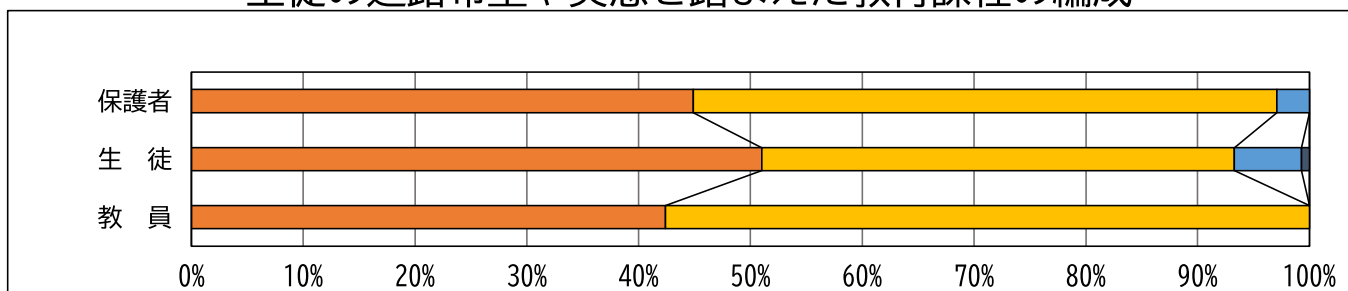
スクールポリシーに基づいた教育課程の編成・実施



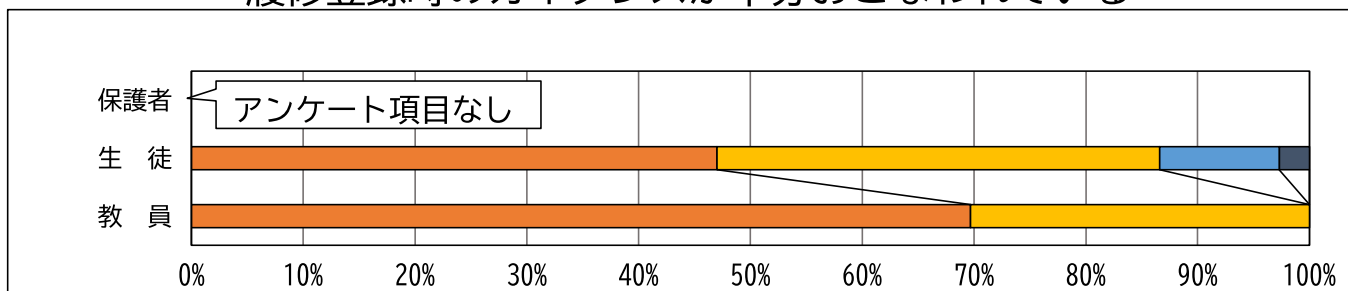
学習の評価や単位の修得、卒業の認定についての理解 (教務内規は説明しやすいものになっている)



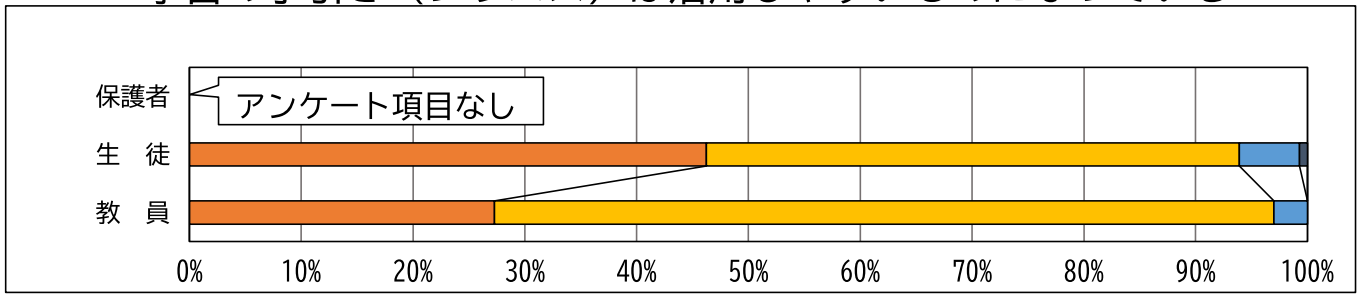
生徒の進路希望や実態を踏まえた教育課程の編成



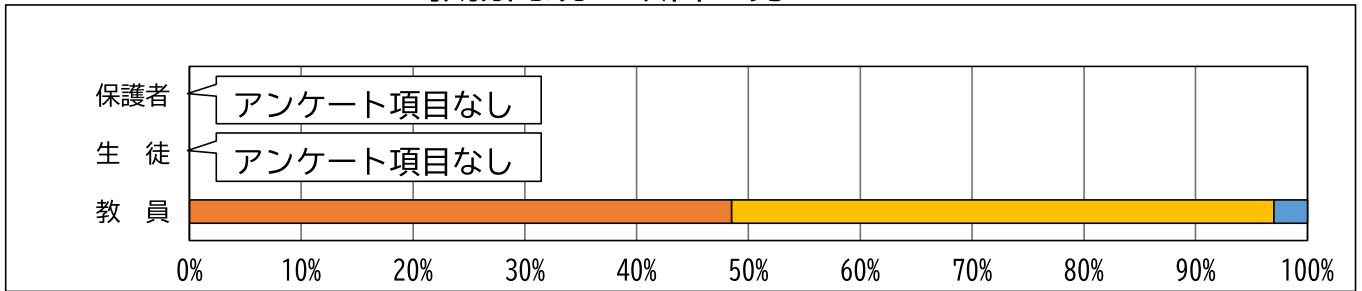
履修登録時のガイダンスが十分おこなわれている



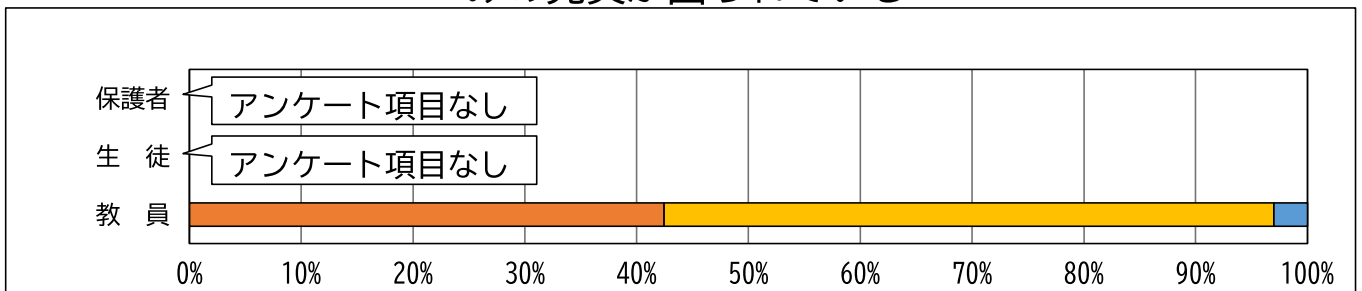
学習の手引き（シラバス）は活用しやすいものになっている



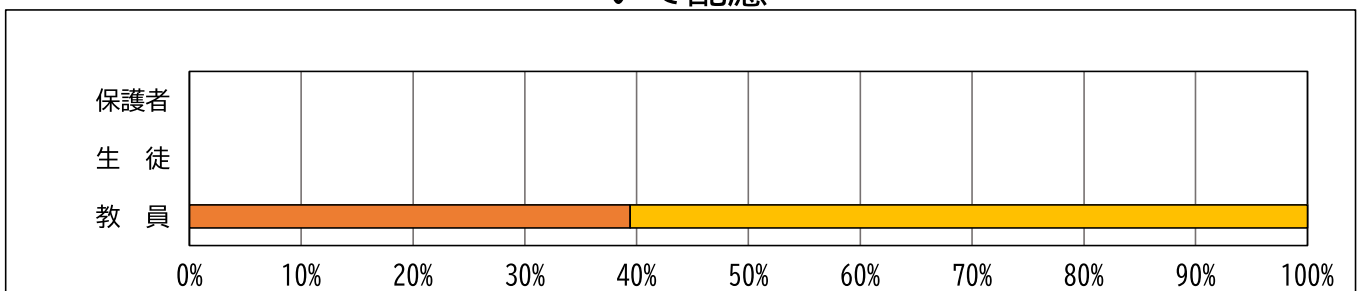
教務内規の改善に努めている



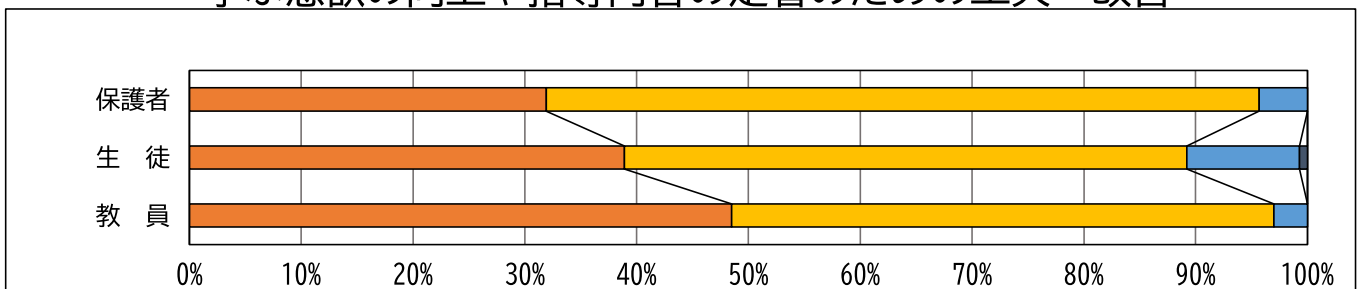
授業公開、研究授業、情報交換をおこなうなど、授業改善に向けた取り組みの充実が図られている



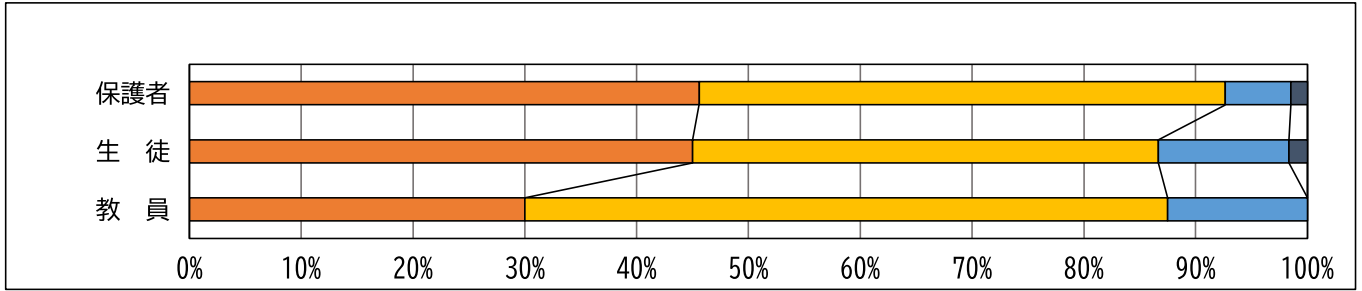
教科について、指導すべき内容をすべて学習させるなど、授業の進捗について配慮



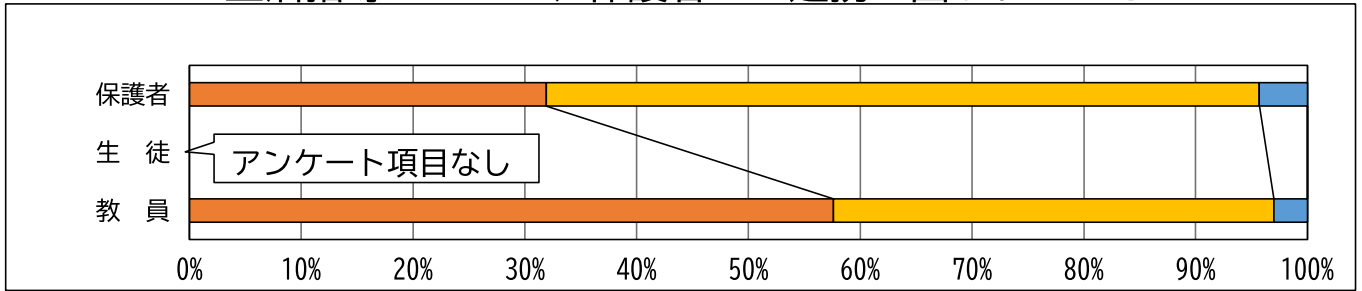
学ぶ意欲の向上や指導内容の定着のための工夫・改善



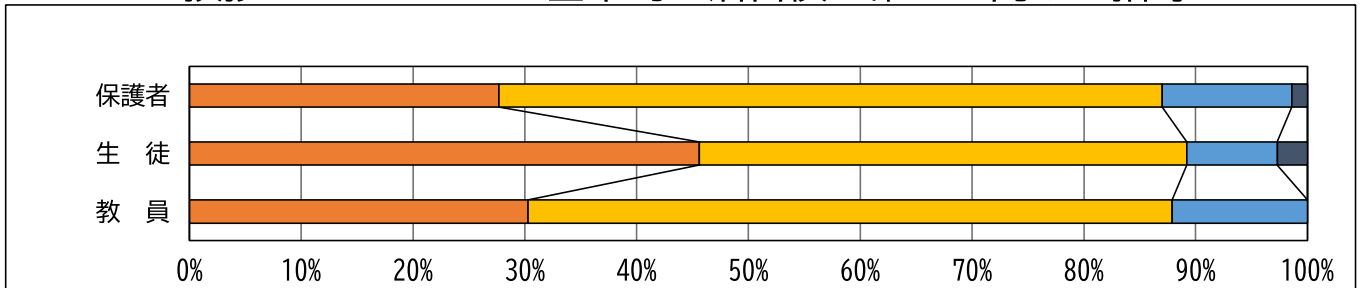
生活指導についての細かい規則を設けていない理由を知っている（周知している）



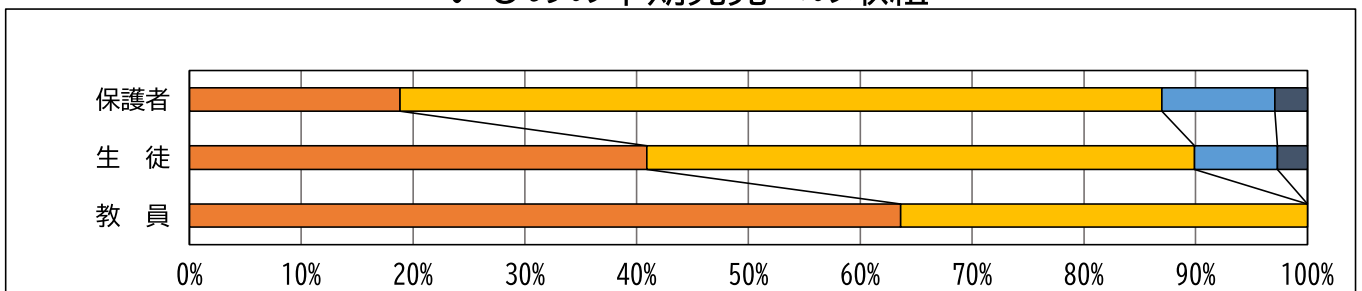
生活指導について、保護者との連携が図られている



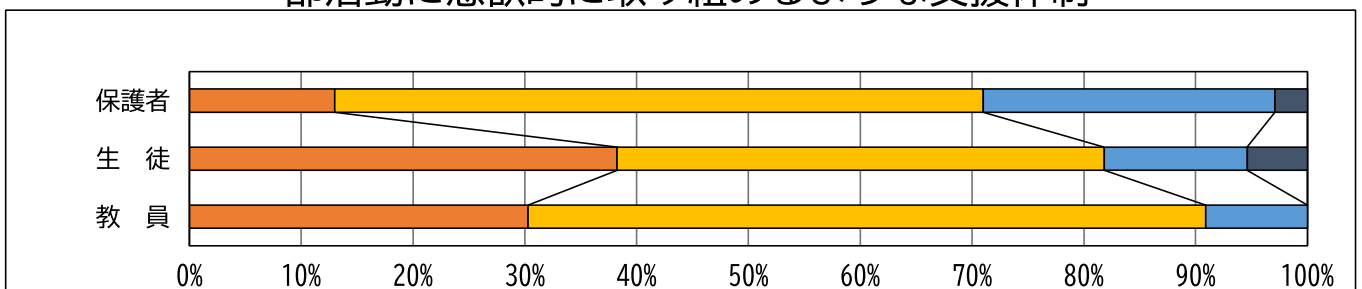
挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に向けた指導



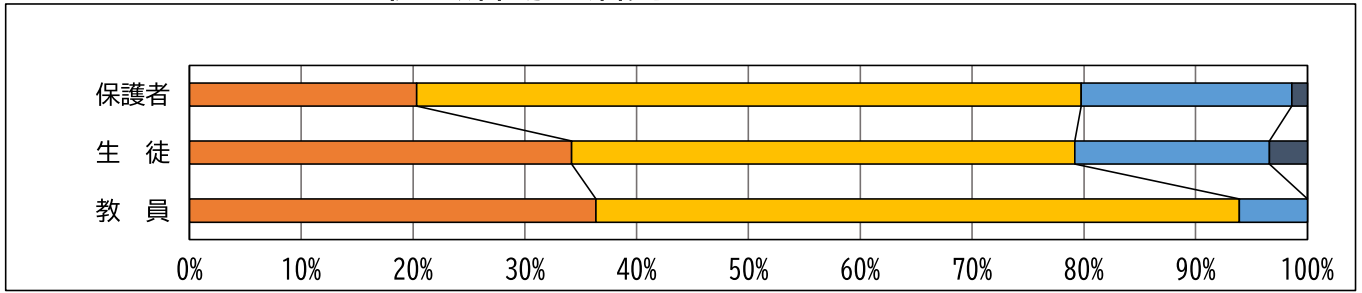
いじめの早期発見への取組



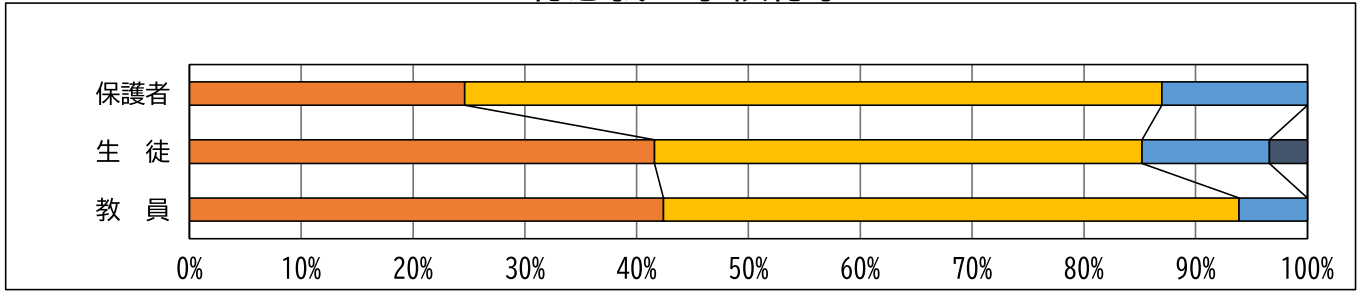
部活動に意欲的に取り組めるような支援体制



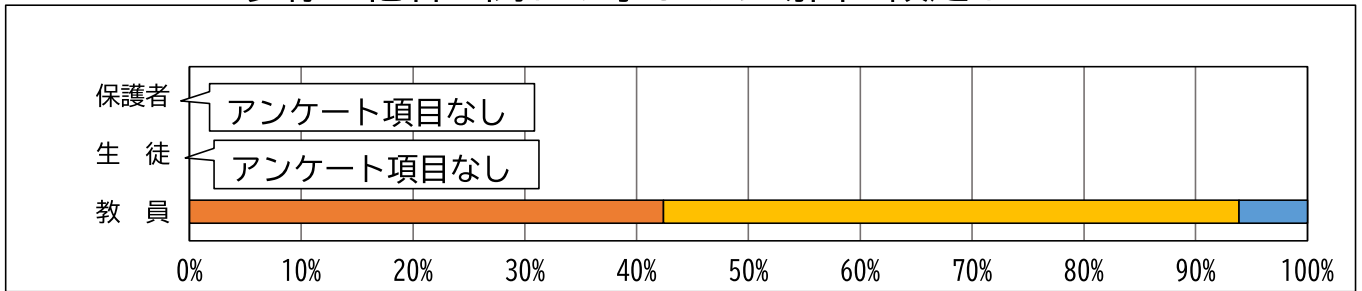
生徒会活動は活発におこなわれている



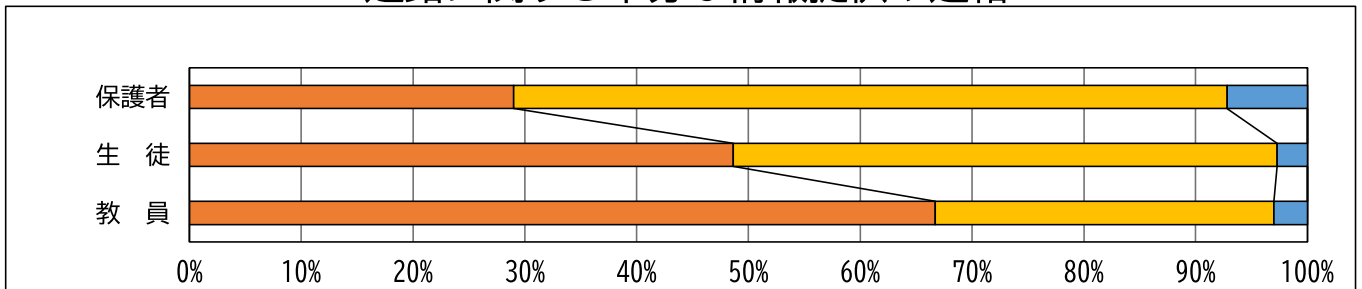
有意義な学校行事



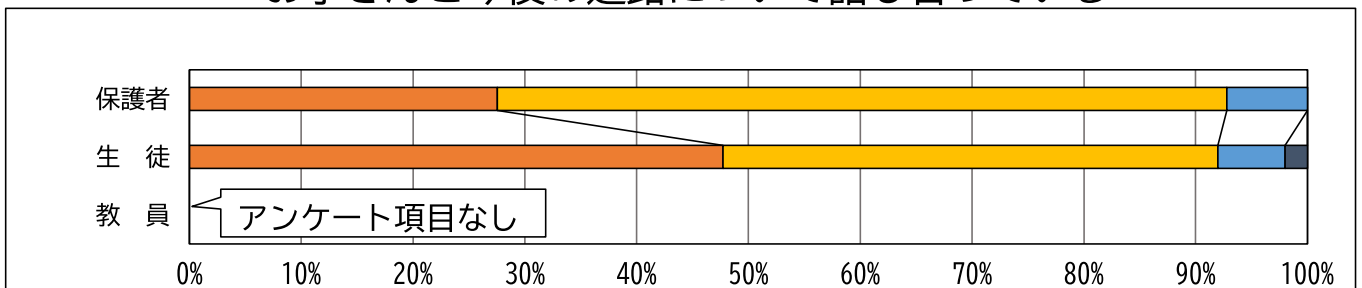
多様な他者と関わり学びあう場面を設定している



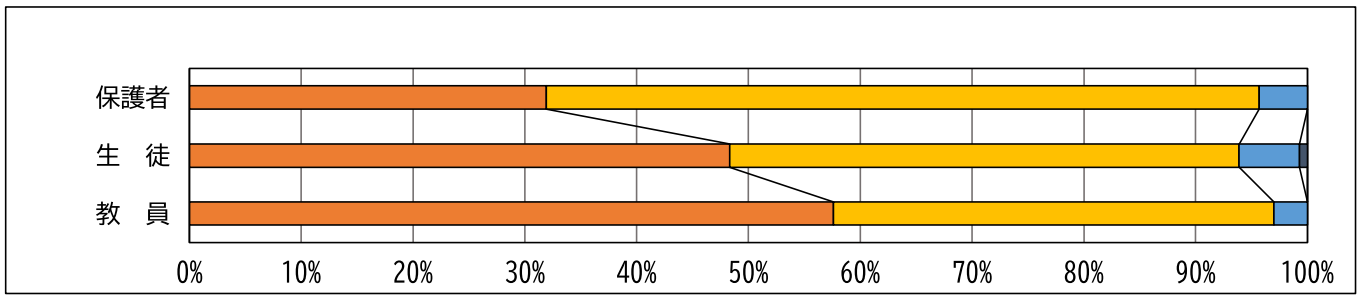
進路に関する十分な情報提供や連絡



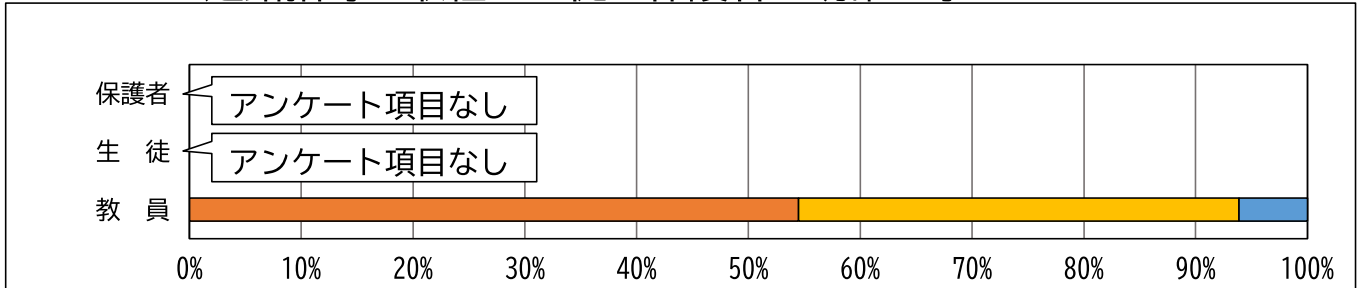
生徒が進路について考える機会を多く設けている お子さんと今後の進路について話し合っている



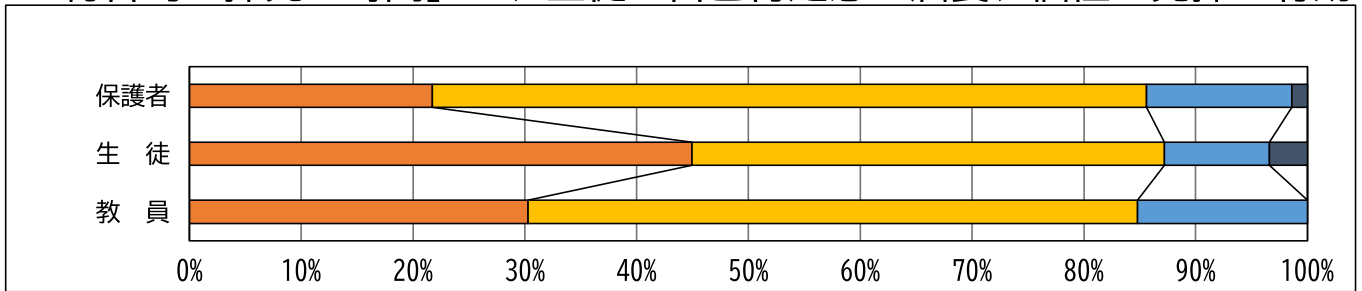
進路目標の明確化に向けた適切な指導



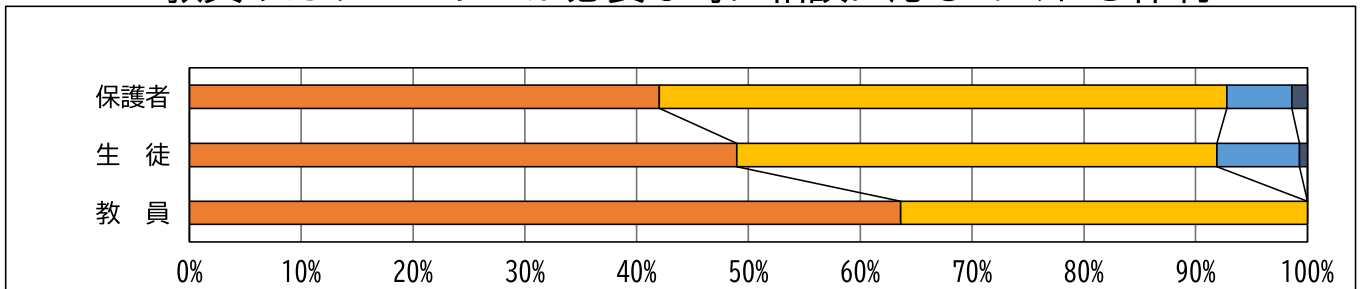
進路指導の取組が生徒・保護者に明確に示されている



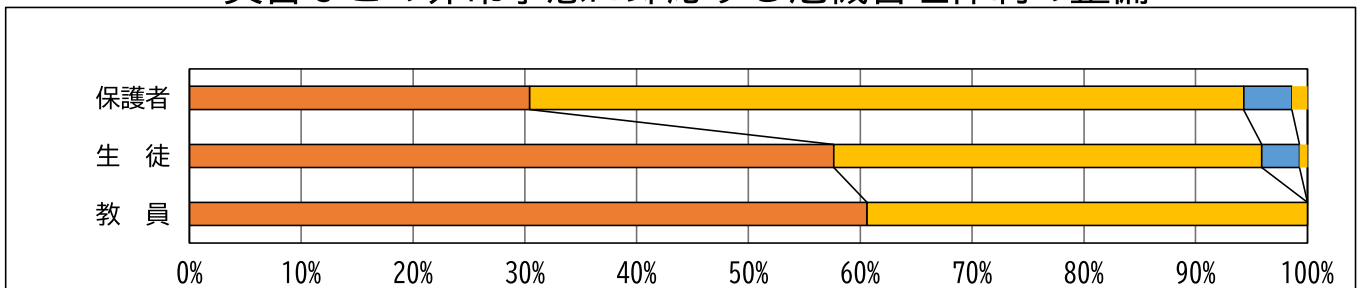
「総合的な探究の時間」は、生徒の自己肯定感の涵養、個性の発揮に有効



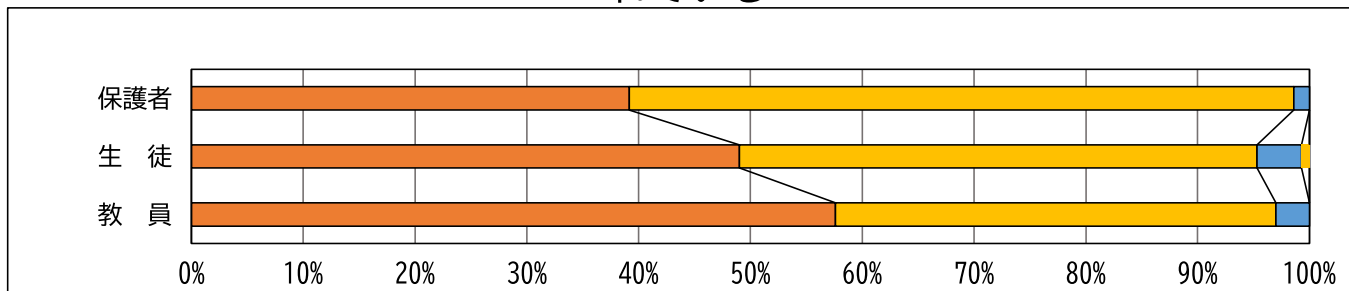
教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制



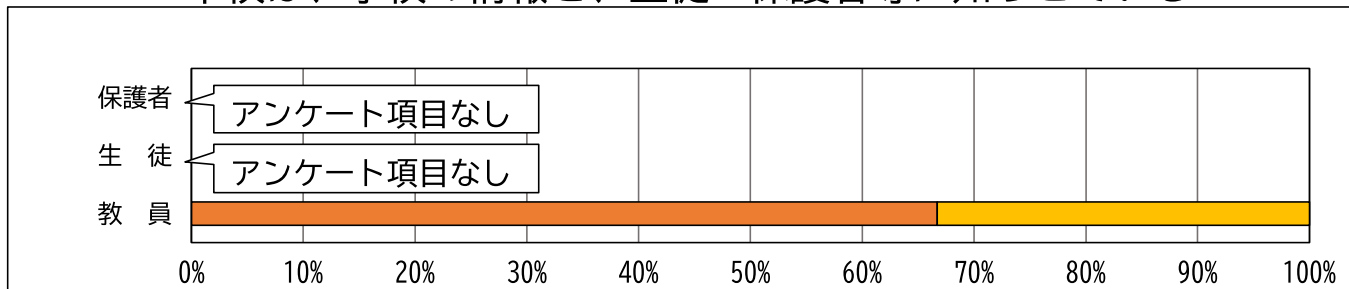
災害などの非常事態に即応する危機管理体制の整備



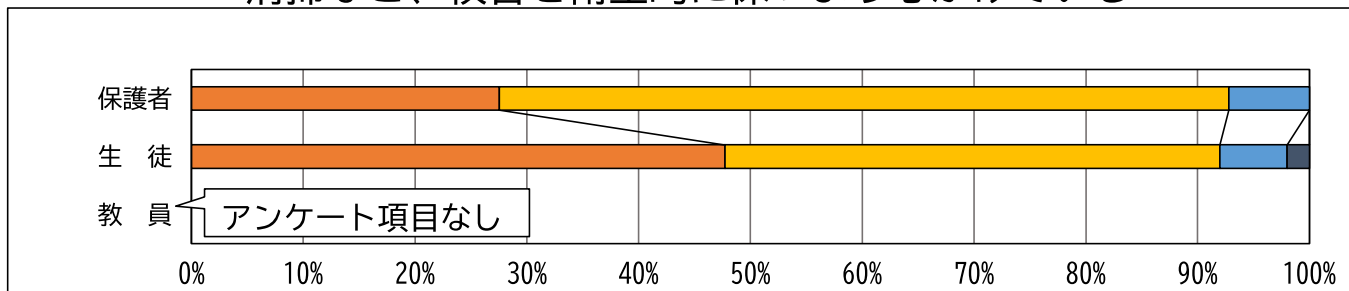
学校便り・ホームページなどによって、本校の情報は家庭に適切に伝えられている



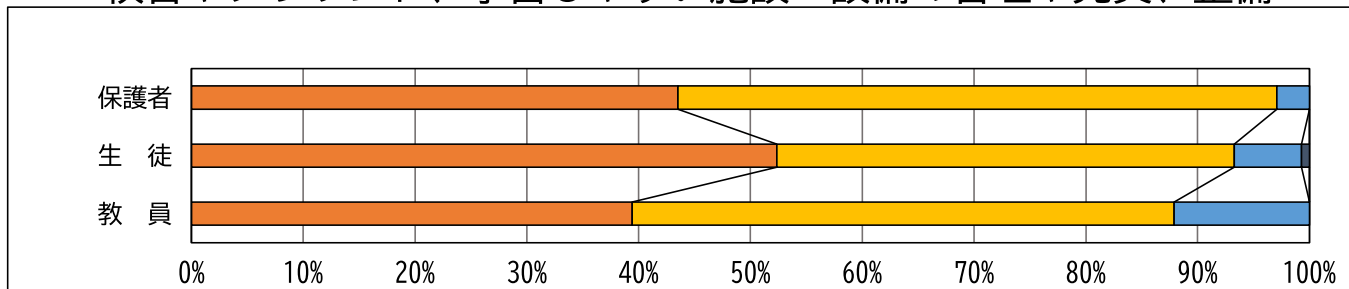
本校は、学校の情報を、生徒・保護者等に知らせている



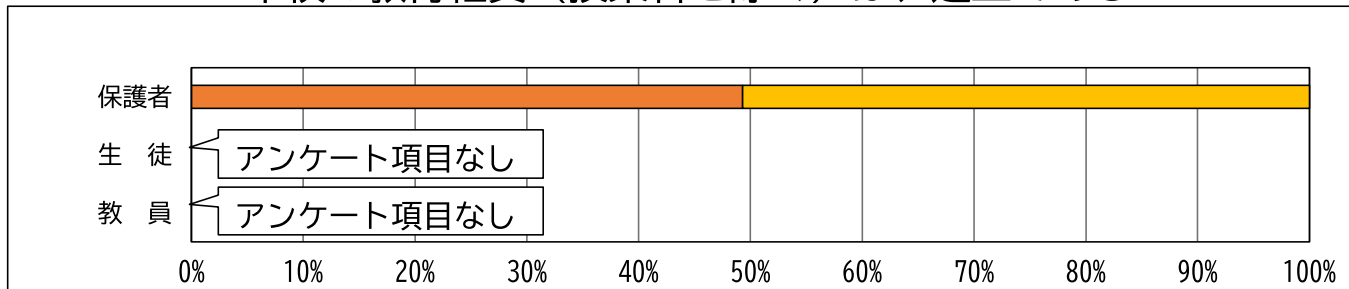
清掃など、校舎を衛生的に保つよう心がけている



校舎やグラウンド、学習しやすい施設・設備の管理や充実、整備



本校の教育経費（授業料を除く）は、適正である



感染症予防や感染拡大防止に適切に取り組んでいる

